

全国労働衛生週間に向けてのメッセージ

拝啓 沖縄県労働基準協会北部支部会員の皆様方におかれましては、常日頃より労働行政の運営にご協力いただきまして感謝申し上げます。

さて、本年も全国労働衛生週間を迎え、例年であれば北部地区労働衛生推進大会が開催されるところですが、新型コロナウイルス感染者が増加することが懸念されることから、本年度は同大会が中止されたところです。

現在は、新型コロナウイルス感染症予防対策が最も優先される事業場の衛生管理であり、皆様方におかれましては、同予防対策で日々ご尽力いただいているものと存じますが、労働者の健康をめぐる状況については、脳・心臓疾患、精神疾患の労災請求件数は増加傾向であることからしても、働き方改革の推進と相まって、長時間労働による健康障害の防止対策、メンタルヘルス対策の推進が必要です。

今年度の衛生週間のスローガンは

「みなおして 職場環境 からだの健康」であります。

新型コロナウイルス感染症予防の観点からも、新様式生活が望まれ、働き方改革で提案されているホームワーク、フレックス等様々な多様性のある働き方を含め職場環境の改善を検討してみることも必要な時期となっています。

また、職場における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためのチェックリストの活用により労使が一体となった取り組みを引き続きお願いいたします。

事業主におかれましては、労働者の健康問題を含め事業場で生じる全てのハラスメントへの対応等苦慮するものでありますが、配布させていただきます北部地区の健康診断結果等の資料を参考に全国衛生週間への取り組みをお願い申し上げます。

敬具

名護労働基準監督署長